

平成 21 年度 事務事業マネジメントシート

事務事業名	成人式開催事業						担当課	生涯学習推進課	担当	課長
政策名	総合計画 体系	生涯健やかな体と心を培う人権尊重を基調とした教育文化都市をめざして					担当係	生涯学習係	担当者	
施策名		次代を担う青少年の育成					法令根拠			
基本事業名		活躍できる場や環境の確保					事業期間	大正・昭和・平成	年度から開始	
予算科目	会計	款	項	目	事業	成人式経費			担当人数	2 人
事業開始の経緯 1948年に公布・施行された祝日法により、「大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い励ます」の趣旨のもと、翌年から1月15日を成人の日として制定した。ほとんどの地方において、成人式はこの日に行われるようになった。その後、1998年の祝日法改正（通称：ハッピーマンデー法）に伴い、2000年から成人の日は1月の第2月曜日へ移動したことにより、成人式もその日へ変更された。										
事業概要 成人となる市民を対象に成人式を実施し、祝い、自覚を促すことを目的に成人の日を開催する。対象者の減少に伴い平成20年度からは1回で実施している。（式典の内容）①国歌斉唱、②市長式辞、③教育委員長祝辞、④来賓祝辞、⑤成人の誓い、⑥少年少女合唱団。ルピアホールを「おしゃべり広場」として開放し、待ち合わせ等の利用に供する。										

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的							
① 実績等		20年度の実績		21年度の予定			
		成人式の案内状を出し、式典(1回)とおしゃべり広場を行った。対象者:905人 出席者:699人 出席率77.2%		内容は前年同様に予定。記念品を廃止する。			
② 対象(誰、何を対象にしているのか)		当該年度中に成人となる市民及び特例者(本籍、中学校卒業等)					
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		参加者が成人となったことを自覚してもらう。					
		④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
		名称		単位			
		ア 成人式出席率		%			
		イ					
		ウ					
		⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
		名称		単位			
		ア 成人となる市民		人			
		イ					
		ウ					
		⑥ 成果指標(意図の達成度を表す指標)					
		名称		単位			
		ア 自覚した成人者数/成人者数		%			
		イ					
		ウ					
(2) 事業費・指標等の推移						(3) 環境変化・市民意見等	
		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)	① 事務事業を取り巻く環境(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				合併前は、講演会やアトラクションを加えた内容により行っていたが、平成7年度からは式典のみとし、東京サマーランドを会場に実施している。平成15年度からは会場を秋川キララホールに変更したが、出席者が会場の定員を超えることが予想されることから、2回に分けて実施していた。平成20年度より対象者が減少したため、1回の実施とした。
		都支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	1,740	1,652	1,596	
事業費計		千円	1,740	1,652	1,596	812	
活動指標		ア %	76	74	77	76	② 市民、議会、事業者、利害関係者等からどんな意見や要望がありますか?
		イ					
		ウ					
対象指標		ア 人	946	860	905	880	・成人式の会場として秋川キララホールを使う必要性について ・記念品の内容について ・実行委員会の組織化について ・来賓者席について ・参加者のマナーについて 等
		イ					
		ウ					
成果指標		ア %	76	74	75	75	
		イ					
		ウ					
(4) 平成 20 年度の改革改善案と実施状況							
① 改革改善案 式典の実施等の運営については、実行委員会の組織化やボランティアの募集等による自主的な運営体制を取り入れるなど、効率的な運営に改善を図る。また、記念品贈呈に関する検討を行い、経費の適正な執行を図る。							
② 改革改善案を踏まえ、平成 20 年度に実施した改革改善の内容 平成20年度については、対象者の減少に伴い、従前の2回から1回の開催へと変更を行った。また、記念品に関する検討を行い、平成21年度より記念品の廃止を決定した。							

2 評価(SEE)

1次評価(担当者記入)

2次評価(施策主管課長記入)

(1) 目的妥当性評価 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ①政策体系との整合性 <input type="checkbox"/> 結びつかない <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく 大人としての自覚を促し、まちづくりに協力してもらうことにより、次代を担う青少年の育成の機会として、政策体系に結びついている。	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 妥当である
(2) 有効性評価 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 妥当である ①成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地あり <input type="checkbox"/> 妥当である 企画・運営方法を現在の市主催から、実行委員会方式にすることにより成果の向上が見込まれる。	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 妥当である
(3) 効率性評価 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 妥当である ①事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地なし 平成20年度より、対象人数の減少に伴い、従来2回に分けて行っていた式典を1回とし、平成21年度からは記念品を廃止するなど、事業費の削減に努めてきた。現段階では、これ以上の削減余地はない。	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 妥当である
(4) 公平性評価 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 受益機会・費用負担の適正化余地 「大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い励ます」の趣旨で行っている事業であり、費用負担などは馴染まない。	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 妥当である

3 今後の方向性(PLAN)

評価のまとめと平成 21 年度以降の事務事業の方向性	評価のまとめと事務事業の方向性等
①事務事業の方向性(複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統合・連携 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	①事務事業の方向性(複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 統合・連携 <input type="checkbox"/> 公平性改善 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他()
②改革改善案	②改革改善に係る担当者への指示事項等
③改革改善案を踏まえて、平成 21 年度に実施する改革改善の内容	